

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成22年度高速自動車国道が地域社会に及ぼす効果検討業務
業 務 概 要	関東地方整備局管内における高速自動車国道等や経済統計などの資料収集を行い、社会経済等の変化を把握することにより、高速自動車国道が地域社会経済の変化に及ぼす効果の検討を行う。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 菊川 滋 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成22年 5月31日
契 約 業 者 名	(株) 三菱総合研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区大手町2-3-6
契 約 金 額	¥10,080,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥10,111,500円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、関東地方整備局管内における高速自動車国道等の開通にともなう経済指標等の変化の要因を分析し、高速自動車国道が地域社会経済の変化に及ぼす効果を検討することを目的とする。 当業務を遂行するには、高度な技術と知識を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により業者の選定が行われた。 株式会社三菱総合研究所は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 (自)	平成22年6月1日
履 行 期 間 (至)	平成22年12月15日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。